

旧植田家だより

KYU-UEDAKE INFORMATION

Vol. 21

2014年7月発行

企画展

八尾の鉄道プレイバック

まちあるきイベント

旧大和川をあるく

～ぶらり玉串川編 Part2～

連載コラム

「落穂拾いー今東光の薫風ー(十五)」



<http://kyu-uedakejutaku.jp/>

展示のご案内

和於！和本 植田家の書籍

平成 26 年度 夏季企画展

わほん

WAO! 和本

わお

～植田家の書籍～

2014年
7月4日(金)～8月31日(日)

休 館 日＝火曜日、7月23日(水)

開館時間＝午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【観覧料】一般200円、高校・大学100円、中学生以下は無料

◇7月21日(祝)14:00～(約20分)
ギャラリートーク ※申込み要
(7月21日による延べ観覧)

「本棚は宝物」

八尾市指定文化財
安中新田会所跡 旧植田家住宅
〒561-0084 大阪府八尾市穂松町1-1-25 TEL/FAX 072-992-5311
ホームページ <http://kyu-uedakejizutaku.jp/>
主催：NPO法人HICALI

【交通案内】
○ JR 大和路線「八尾」駅下車、南出口より東へ徒歩約3分
○ 近鉄大阪線「八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行
JR 八尾駅前バス停下車、南東へ徒歩約6分
※当施設には駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

平成26年度 夏季企画展

「WAO!和本～植田家の書籍～」

2014年7月4日(金)～8月31日(日)

※休館日はP15をご覧ください

次回 通常展「大和川付替え関連展示」(9/4～10/29)

旧大和川の歴史と旧植田家住宅の変遷をパネルと資料でたどります。

Contents

- 4 企画展
八尾の鉄道プレイバック
- 6 講座
マップとまちあるき
- 7 八尾再発見！文学に見る八尾
やあ！おお！図書館の話
- 8 まちあるきイベント
旧大和川を歩く～ぶらり玉串川編 Part2～
- 10 なにわの伝統野菜栽培日記 ②
- 11 釜バアの伝統野菜 DE 簡単レシピ
- 12 三会所だより（1）
- 13 植松のまち・ひと ― 第14回
- 14 コラム「落穂拾い - 今東光の薫風 - （十五）」
- 15 旧植田家住宅のご案内



表紙写真

《河内鉄道会社路線図》(部分)

明治28年(1895)頃に敷設計画があった河内鉄道(八尾～住道)の路線図。旧大和川(玉串川)沿いを線路が通っている。河内鉄道会社の設立に関わった植田家には、河内鉄道および鉄道関連の文書が数点のこされている。



※『旧植田家住宅だより』のバックナンバーはホームページからダウンロードができます。
<http://kyu-uedakejutaku.jp>

企画展

もう一度ふり返る…



八尾の鉄道

プレイバック

～鉄道のある風景とくらし～

→2014年3月6日(木)～5月18日(日)



【八尾の鉄道】

2014年3月に開催された企画展「八尾の鉄道～鉄道のある風景とくらし～」では、新旧の駅写真を中心に、鉄道関連資料を各関係機関・団体、個人等から集め、一堂に展示しました。植田家の収蔵品だけを展示するこれまでの企画展とは違った本展は、時代の風景や個人の記憶を頼りに、多くの方々に楽しんでいただき、来場者数も過去最高を記録しました。ここでは、「八尾の鉄道」展をふり返り、目玉の一つとなった河内鉄道についても紹介します。

現在八尾市内には、西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）、近畿日本鉄道（近鉄）、大阪市交通局（大阪市営地下鉄）の各鉄道会社の運営する12の駅があります。各駅ともに、現在に至るまでには様々な変遷があり、展示では今昔写真を通して、その歴史をふり返りました。特に、旧植田家住宅の最寄り駅である「JR八尾」駅は、今年の5月14日に開業125周年を迎える最も古い歴史のある駅で、昨年の7月には橋上駅舎化と自由通路の設置も終え、新しい歴史の1ページを開きました。これを記念し、

JR八尾駅の旧駅舎看板（JR八尾駅提供）のほか、明治22年の大阪鉄道・湊町～柏原駅間（現・関西本線）開通当初のレール（柏原市教育委員会提供）なども展示しました。私たちの記憶の中にある鉄道の風景は、その当時のくらしの記録でもあり、その中には時代やまちなみの変化、それぞれの思い出が残されていることを本展を通じて改めて実感しました。



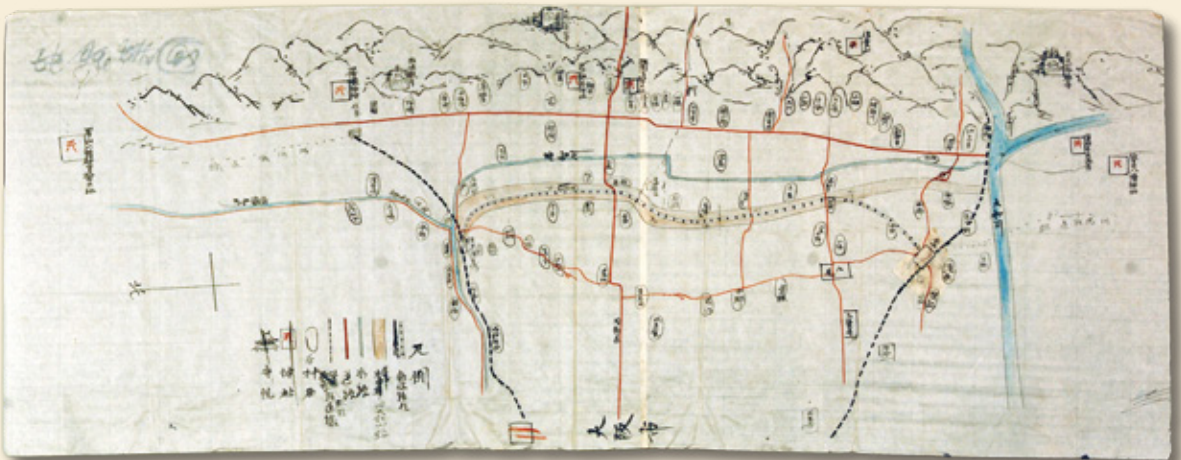
12の駅の今昔写真のほか、様々な関連資料を展示

【幻の河内鉄道】

本企画展のもうひとつの目玉となったのが、「まぼろしの河内鉄道」のトピック展示でした。「河内鉄道」は、鉄道敷設法の公布（明治25年）と日清戦争（明治27～28年）後の好景気で日本各地に鉄道敷設の構想が持ち上がった時代、八尾（大阪鉄道。現JR大和路線）～住道（浪速鉄道。現JR学研都市線間に計画された路線です。残念ながらこの計画は其後の経済不況などにより実現には至りませんでした。鉄道会社の創立に大きく関わった植田家にはその関係文書がのこされています。そして鉄道会社創立委員には、植田家5代目・植田一郎のほか、宝永元年の大和川の付け替えに尽力した中甚兵衛の子孫である中敬男の名前も見られます。

今回初公開の「河内鉄道会社路線図」には、旧大和川跡の玉串川沿いに線路が描かれ、路線図には寺社仏閣や周辺の地名が多く記されていることから、この路線が参拝者の往来や物資輸送を目的としたものだといふことがよく分かります。他にも予定停車駅が記された「河内鉄道路線略図」も公開し、知られざる八尾の鉄道の歴史にもふれることができました。（学芸員 安藤亮）

幻の河内鉄道！その路線図を公開！



「河内鉄道会社路線図」（明治28年頃、59cm×27.5cm、旧植田家住宅所蔵）

「マップは、たのしい」「まちあるきも、たのしい」。マップとまちあるきの楽しみ方についてお話を下さったのは、NPO法人HICALIの北村茂章さん。建築家の北村さんは、これまで様々な場所や地域に行き、まちあるきをされてきました。また、「マップ師」（同法人での呼称）としてもおなじみの北村さんが作成するマップは、どれもやさしく、くわしく、あたたかい雰囲気があり、まちあるきにはぜひ連れて行きたくなります。今回は、北村さん独自のまちあるきの楽しみ方とその極意、マップの活用と効用について、様々なお話を聞くことができました。

まちあるきとは普通の散歩とはどのように違うのでしょうか。基本的に歩くことには変わりはありませんが、まちあるきには「調べる、見つける、記録する」という3つの要素があり、これがまちあるきの楽しみ方でもあるといえます。自分の興味や関心に従って歩くだけでも楽しいですが、予め、まちのあれこれについて調べていくと、そこで出合ったものが、また違って見えてきます。また、普段見慣れた場所でも、意外と知らないことが多いことに気付かされ

講座

マップは、たのしい。

まちあるきも、たのしい。

まちをあるく。

マップとまちあるき



会場の様子

まちあるきの楽しみ方の極意。

マップの活用と効用。

2014.04.26



マップを紹介する北村茂章さん



北村さん作成のオリジナルマップ

ます。実際にまちを歩いてみると、些細なことでも必ず発見があり、それを記録していくと、さらに調べる事が出てくる。この「調べる↓見つける↓記録する↓調べる…」の集積がいずれマップとなります。

今回の講座では、北村さんのこれまでのマップや記録(メモ)も見せて頂き、その活用について語られました。まちは常に変わり、5年が経つだけでもその中身は違っていくます。その変わるものと変わらないものが記されたマップは、まちづくりに活用でき、次代に伝えるための資料としても有用であることを、講座を通して学びました。

(参加者)

八尾再発見！文学に見る八尾

やあ！おお！図書館の話

今年4月30日にリニューアルオープンした八尾図書館。ここには、様々な本の「出会(合)い」や「驚き」があります。そんな図書館の魅力についてお話していただきました。

6月28日(土)旧植田家住宅では、八尾市立八尾図書館のリニューアルを記念した講座「やあ！おお！図書館の話」を行いました。本講座は、これまで今東光や在原業平などを取り上げた「八尾再発見！文学に見る八尾」の中で行なわれましたが、今回は文学作品がテーマではなく、文学を含む書籍を扱う図書館にスポットを当て、八尾図書館館長の南昌則さんと今東光資料館(八尾図書館3階)職員の堀恵さんのお二人にそれぞれ図書館の魅力についてお話をして頂きました。

前半は南さんが新旧の八尾図書館について、軽快なおしゃべりとクイズを交えながら紹介をされました。ふだん気になる図書館の裏側



や利用に関する疑問、

リニューアルに至った

経緯など興味は尽きま

せん。また今回のメイ

ンともいえる新八尾図

書館については、驚き

の設備と機能が満載で、

参加者の関心を大いに

引きました。とくにカウンターの机に本を置

くだけで貸し出し手続きができるという最新

設備にはびっくりです。

また、出合いの場でもある図書館には、子

どもからお年寄りまで安心して利用できるス

ペースや設備も多く整えられているというこ

とで、学生がよく利用するという「学習室」

や子どものための「おはなしの部屋」、多目的



軽快に図書館を紹介する南館長

な「対面朗読室」に、放課後の中学生のデパートスポットにもなっている「テラス」など、図書館のイメージを覆されました。

後半の堀さんは、八尾図書館の3階に新設された「今東光資料館」について紹介をされました。こちらも最新の設備とおしゃれな展示スペースで、八尾に縁のある作家・今東光について学ぶことができるスポットになっています。講座では、堀さん一押し of 「男前」だという、今東光と交流のあった人物の名前を当てるクイズもあり、会場の参加者は写真を見て頭をひねっていました。資料館では、こうした今東光が出会った様々な人物ともパネルで出会うことができ、意外な人物とのつながりに思わず「おお」となってしまうです。

本講座を通して八尾図書館の魅力を存分に知ることができました。早速図書館に行つて本を借りてみようかな。(旧植田家住宅スタッフ)



堀さん一押しの写真は資料館で





④天台院

天台宗総本山の比叡山延暦寺の末寺で、室町時代初期の創建とされる。昭和26年(1951)今東光が本山から派遣され、約24年間ほど滞在。その間、作家・政治家としても活躍し、河内を舞台とした数々の名作を生み、寺も河内の名所となった。



⑤八坂神社

中野村の氏神。元禄5年(1693)に創建された。7月末にふとん太鼓がでる夏まつりが行われている。



⑥中野山本共同墓地

旧大和川の西の堤に位置する。今東光の小説のモデルになった中野村の人々の墓石もある。新田には多くの井戸が掘られ、井戸と手押しポンプがのこる。



⑦山本高校と山本小学校

山本高校は昭和2年(1927)大阪府立第13高等女学校として設立し、昭和4年(1929)に当地に移転してきた。また、山本小学校は昭和8年(1933)に当地に移転した。(※写真は山本高校前)



⑩御野縣主(みのあがためし)神社と親井戸

かつて三野郷といわれたこの地一帯を支配していた豪族・美努連(みぬのむらい)、三野縣主一族の祖神であるとされる。創建年代は不詳であるが、延喜式神名帳に河内国若江郡の御野縣主神社二座と記載があることから平安時代以前にはあったとされる。境内西側は小高い丘で、旧大和川の堤跡であると考えられる。境内の南端には水道ができるまで使われていた上之島村の親井戸が残る。



⑧山本町北第1公園と上之島墓地

相撲取りや義太夫の墓がいくつもあり、墓地の周囲に公園が整備されている。



⑨上之島地藏

もとは近くの中正寺の門前にあった。村の誰かが「竹やぶに仏さんがいたはる」という夢をみて掘ったら石仏が出てきたと伝えられる。向かって右は薬師如来像、左は阿弥陀如来像。



⑪寺井樋と寺井沓(みぞ)境石

寺井樋をめぐって安政5年(1858)に、上之島村と中野村の水争いが度々あった。寺井沓境石は、溝の水量を決める石で、以前は水面の近くにあった。



⑫シラミ地藏

万願寺村の北端に位置する。この道は埴内にある元善光寺への参道にあたり、俊徳丸が四天王寺より高安の里への帰り道、この地で夜が明け、空が白んできたことから、この名が付いたといわれている。



⑬八幡神社

成立は不明。万願寺中之辻の氏神。万願寺では、7月末に万願寺4カ村(南之辻・中之辻・北之辻・新家之辻)のふとん太鼓がでる夏まつりが行われている。



⑮山本青果市場

市内にある青果市場は、昭和30年代にきゅうり・トマトなど野菜の近郊農家からの出荷で賑わったが、スーパーの出店などで、各所にあった市場も激減し、市内で唯一残る。



⑯山本新田会所跡・山本小学校跡

かつて山本新田の会所があった場所。山本新田は、享保13年(1728)より泉屋吉左衛門(住友)にうつり、その後、昭和15年(1940)まで住友の所有地であった。山本小学校は、当地に明治6年(1873)河内第41番小学校として創設された。



⑭住吉神社

住吉三神を祀る。万願寺南之辻・新家之辻の氏神。

まちあるきイベント 旧大和川を歩く ～ぶらり玉串川編 Part 2～

宝永元年(1704)の大和川付け替えによって新田開発された旧川筋には、歴史ある史跡や名勝、名所がたくさん残されています。このまちあるきでは、大和川付け替えの歴史を中心に、古いものから新しいものまで様々な魅力あるスポットを発掘します。

2014年5月11日(日)、10名の参加者とともに「旧大和川を歩く～ぶらり玉串川編 Part2」を実施しました。今回は近鉄河内山本駅を起点に玉串川を北上し、周辺のまちなみや旧河川の堤跡を辿りました。このコースには寺社や墓地がたくさんあり、とくに天井川であった旧大和川の堤にある墓地から当時の風景が想像でき、村相撲のおこなわれた歴史的景観も感じられます。また、今回のまちあるきには、地域の墓碑などを調査・研究されている方が参加され、特別に解説もしていただきました。

およそ2時間の道のりをぶらりと一周し、河内山本駅近くの山本新田会所跡まで戻ってきました。最近では、おしゃれなカフェなどで注目されている山本駅周辺ですが、今東光に縁のある天台院や大和川付け替えの歴史も多くのこされ、新旧ともにまちの魅力が感じられます。



①河内山本駅
大正14年(1925)に大阪電気軌道(現・近鉄大阪線)の路線が延伸開業し、当地に山本停留場(現・河内山本駅)が開業した。



②山本八幡宮と石灯籠
享保元年(1716)、石清水八幡宮より山本新田の鎮守として勧請されたと伝わる。新田の名称は、宝永元年(1704)の大和川付け替えの後の新田開発を請け負った山中庄兵衛正永と本山弥右衛門重英の両名の姓より付けられた。両名が寄進した石灯籠が鳥居横に残る。



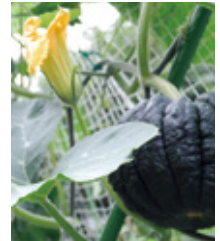
③山本1丁目公園(山本小学校跡)
山本小学校は、新田会所内に明治6年(1873)に河内第41番小学校として設立。当地に小阪尋常小学校として明治25年(1892)から昭和8年(1933)まであり、その後、山本高校の隣に移設。当地には山本幼稚園が創設された。

なつにわの伝統野菜 栽培日記

No.21



かまどで豆ご飯炊き



勝間南瓜と花

【異常気象で困った現象】

本来なら梅雨真っ只中の7月上旬。今年は、雨がほとんど降っていない。関東では大粒のひょうが降り、車庫の屋根を壊したとのニュースが流れた。この調子だと後半に、またあのゲリラ豪雨にみまわれるのか。ここ数年の異常気象は、小さな畑の作物にも大きな影響を与える。

ゴールデンウィーク明けに植えた毎度おなじみの勝間南瓜にも珍しい現象がおこった。普段はツルが伸び、蕾がついて雄花が咲き、その後しばらくしてから雌花が咲く

はずなのだが…咲き始めたのは全て雌花。いくら雌花がたくさん咲いても雄花が全然咲かないため、当然、授粉ができずに小さい実は枯れ落ちるという悲しい結末。世間では「草食系男子」が増えていそうだが、南瓜の世界でも「肉食系女子」に圧倒される控えめな男子が流行りなのだろうか。

【お味は上々！】

全く忘れ去られたウスイエンドウ（「栽培日記」20号参照）は、週イチのドーピングで何とか実をつけ、大阪人風に言うところ「ぼちぼちでんなあ」。そして、いつもながら

かまどで炊いた豆ごはんの味は最高！回数を重ね、わたくし釜バアが、ご飯炊きにも少し慣れ、師匠より合格点を頂いたことは何より有難いことだ。



九月には「防災！かまどでご飯炊き体験」という初の企画や幼稚園のご飯炊き見学などもあり、釜バアの出番も多くなりそう。ここ一番でコゲコゲおこげを作らないように気を引きしめ、緊張感を楽しもうと思う。

【視力回復!】

畑横の庭は今、賑やかな事になっている。壁一面を覆うゴーヤ、へちま、ひょうたんの巨大なグリーンカーテン。そしてハンパない数のイチゴの子株に、ジャングルもびつくりな勝間南瓜と黒門越瓜。グリーンマニア（緑好き）の方、疲れ目の方、かくれんぼがしたい方（実際はしないでください）は、ぜひ一度この時期にご来館下さい。但し、私と同じく虫の苦手な方は蟬タックル（蟬の突撃）をもらう確率が非常に高いので、予めご了承くださいませ。

（←緑色で視力回復!）



くろもんしろり
【黒門越瓜の輪！エビ詰め煮】



釜バアの
なにないの伝統野菜
DE
簡単レシピ



材料(2人前)

- ・瓜……………1本
- ・エビ(中)……5～6匹
- ・人参…………2～3cm
- ・しいたけ…………1枚
- ・片栗粉…………少々
- ・塩・しょうゆ・酒…適量
- ・しょうが(千切り)
…スライス3枚分

「なにないの伝統野菜栽培日記」
のレシピが4年ぶりに復活！
釜バアによる簡単レシピを
ご紹介します。

暑い日は冷蔵庫で冷やしてもOK！お好みで大葉の千切りとしょうがのをのせて。



- ① 越瓜は、ピーラーで縦に数本皮をむく。



- ② ヘタを切り落とし、2センチ幅の輪切りにする。



- ③ 輪切りにした瓜の種をスプーンでくりぬき、ぬいた所に片栗粉を薄くまぶす。



- ④ エビは粘りが出るまで包丁で叩くか、フードプロセッサーにかけて潰し、塩・酒とつなぎの片栗粉少々を加えてなじませる。この時、みじん切りにした人参、しいたけなどの野菜をいっしょに混ぜ込むと色どりもきれいに。



- ⑤ ③の穴に④を手の平で押すようにして、しっかりと詰める。



- ⑥ 出汁に塩、薄口しょうゆ、酒、千切りにしたしょうがを入れ、煮立ったら⑤を入れ、蓋をして弱火で20分ほど煮込み、最後に水溶き片栗粉でとろみをつける。

* 煮込む出汁はお吸い物ほどの濃さ

もう1品ッ！



【黒門越瓜のゆず胡椒炒め】

材料(2人前)

- ・瓜……………1本
- ・豚肉…………200g
- ・ゆず胡椒…スプーン1杯
- ・酒・しょうゆ…適量

- ① 越瓜は縦に半分に切り、スプーンで種を取っておよそ5ミリの薄切りにする。
② フライパンにサラダ油を入れ豚肉を炒め、軽く火が通ったら①の瓜を入れ、しんなりするまで火を通し、酒・ゆず胡椒・しょうゆを加え強火でさっと炒める。

【黒門越瓜のさっぱり和え】

* 梅干しをたっぷり使うと美味しさUP！

材料(2人前)

- ・瓜……………1/2本
- ・塩……………適量
- ・梅干し…………3つ
- ・かつおぶし……1P



- ① 越瓜を薄切りにし、塩もみをして、水気が出てきたら余分な水分を絞る。
② 水気をしぼった越瓜に、種をとってあらくほぐした梅干しを絡め、仕上げにかつおぶしをあえる。



三会所だより (1)

宝永元年（二七〇四）の大和川付け替えの翌年から、久宝寺川（現 長瀬川）・玉櫛川（玉串川）などの旧大和川筋、深野池、新開池で新田開発が始まりました。八尾市域では安中新田をはじめ山本新田、柏村新田など八カ所の新田が開発され、新開池では鴻池新田（東大阪市）が開発されています。また、付け替えの五年後にはおよそ一〇六〇町歩（二〇五〇ha）三三カ所、幕末には五三カ所の新

田が開発されたとされています。

一方、大阪市西部（湾岸部）の新田開発は、元禄年間（二六八八〜一七〇四）以前から幕末にかけて行なわれ、会所の現存する加賀屋新田をはじめ、春日出新田、市岡新田などおよそ五〇カ所の新田が開発されました（これらは総称して大坂川口（海表新田とよばれる）。同じ大和川付け替えと新田開発の歴史の中で、東と西で異なるこの両側については、今後もふれていきたいと思います。今回はここまで。

（安中新田会所 安藤亮）



- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1 河内屋北新田 | 11 灰塚新田 | 21 玉井新田 | 31 天王寺新田 |
| 2 深野北新田 | 12 川中新田 | 22 菱屋中新田 | 32 山本新田 |
| 3 尼ヶ崎新田 | 13 鴻池新田 | 23 新喜多新田 | 33 柏村新田 |
| 4 三箇新田 | 14 中新田 | 24 菱屋西新田 | 34 二俣新田 |
| 5 深野新田 | 15 箕輪新田 | 25 吉松新田 | 35 市村新田 |
| 6 深野南新田 | 16 三嶋屋新田 | 26 金岡新田 | |
| 7 中村新田 | 17 橋本新田 | 27 三津村新田 | |
| 8 横山新田 | 18 三組新田 | 28 大信寺新田 | |
| 9 御供田新田 | 19 布屋新田 | 29 顕証時新田 | |
| 10 河内屋南新田 | 20 菱屋東新田 | 30 安中新田 | |

※加賀屋新田（住之江区）は、大阪市西部の新大和川沿いにあります。



◎三会所いべんと案内

◇鴻池新田会所

・八月二日（土）「怪談落語」

・八月十七日（日）「ニュー・ファイブ・ライズ」
第13回ビッグ・バンド・ライブ

・十月二十六日（日）「鴻池ジャズストリート」

主催 鴻池ジャズストリート実行委員会



場 所：東大阪市鴻池元町2-30
交 通：JR学研都市線「鴻池新田」駅
下車、南東に徒歩5分
開 館：10時〜16時
休館日：月曜日、祝日の翌日（土・日除く）
観覧料：大人300円、小・中学生200円
お問い合わせ：06-6745-6409（電話）
06-6744-7498（FAX）

◇加賀屋新田会所（加賀屋緑地）

・十月二十六日（日）「第2回加賀屋新田会所寄席」

主催 住之江のまち案内ボランティアの会



場 所：住之江区南加賀屋4-8
交 通：地下鉄「住之江公園」駅下車
徒歩15分・市バス「南加賀屋
四丁目」下車徒歩5分
休園日：月曜日、年末年始
開 園：10時〜16時30分
入場料：無料



植松のまち・ひと

第十四回

◇植松灯籠の日

旧奈良街道がのこる植松のまちには、かつて夜道の安全を守り、人々に親しまれてきた「常夜燈」が、東西の入り口にあった。西の灯籠は今もその場所に置かれているが（当時のままであるかは不明）、東口にあったものは、幾度かその居場所を追われ、現在は旧植田家住宅の庭に移設されている。この灯籠について植松では、現状を知る人は少なく、またその存在自体を知る人も少なくなってきた。

常夜燈には、火袋の台（中台）に「金毘羅大権現」、柱部分の竿に「常夜燈」・「寛政十一年己未歳十月吉日」・「發起人 絹屋佐

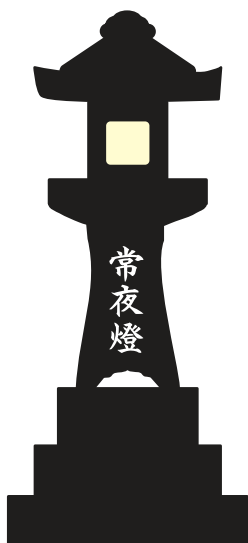
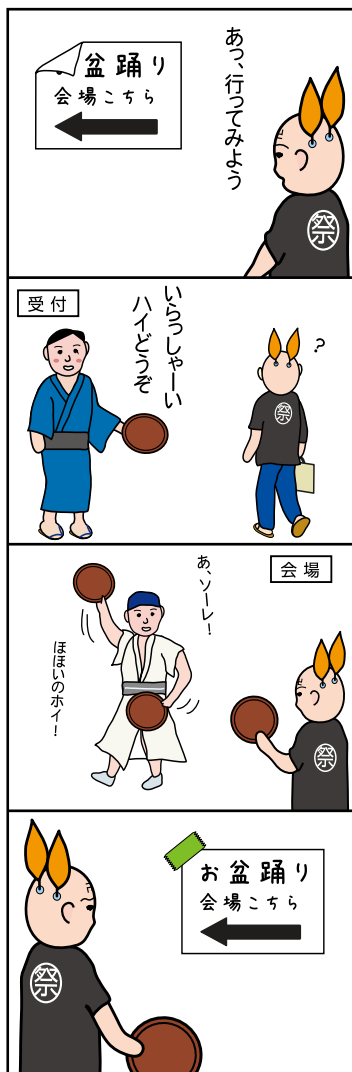
「植田家の灯籠に あかとも 灯りを灯すイベント」

兵衛」の文字があり、この灯籠が寛政十一年（二七九九）に金毘羅宮（香川県仲多度郡琴平町）に参拝した記念に建てられたことが分かる。自由に旅ができなかった江戸時代、寺社への参拝は許され、金毘羅参りやおかげ参りが流行したが、その当時の信仰やくらしを灯籠が物語っている。

旧植田家住宅では、この灯籠をPRすべく、「植松灯籠の日」を設け、無料期間中の夜間に灯籠の点灯イベントを行なった。庭の灯籠とともに数十年ぶりに灯りが灯った灯籠の姿を見ることができ、当時を懐かしむ人たちが、その幻想的な雰囲気を楽しむ人たちによって、静かだった夜は賑わいを少しだけ取り戻した。

マンジーくん

安富士 暁



次回は11月8日(土)に開催予定!



数十年ぶりに灯りの灯った常夜燈 (2014.5.10 旧植田家住宅・庭にて)

落穂拾い

― 今東光の董風 ― (十五)

文・伊東健

昭和三十六（一九六一）年十一月にブラジルの旅先から送られた「生きろマンショ」の主人公・三箇マンショが拠点とした地域は現在の大東市から四条畷附近の深野池や飯盛山周辺であっただろうと東光は記しています。しかし、大和川の付替え等により深野池の様相は往時を偲ぶことができず、東光は惜しんでいます。

マンショの父であるサンチョは、三好長慶の家来として身を立て、宣教師ヴィレラにより受洗したとフロイスの「日本史」に記されていることに注意を促し、河内の三箇に建てられていた会堂について、その文章を引用し、東光は次のように書いています。

フロイスは「三箇殿は、孤児の父、寡婦の保護者で、窮乏せるキリシタン一同の庇護者」とまで言っている。この事実は三箇

の会堂が、単に説教所であるばかりでなく、孤児院や、寡婦の授産所をも兼ねた一種の社会福祉施設であったことが想像されるのだ。一五〇〇年代の末葉に河内国の片田舎にこのような設備が設けられ、窮民を保護していた善良な領主が存在していたことを史家は逸してはならないのである。（後略）

実は、この会堂に立ち寄り数日を過ごした人物が、NHKの大河ドラマの主人公・軍師官兵衛であったことを司馬遼太郎氏も著作「播磨灘物語」で触れています。

河内の三箇の山河は、その後、官兵衛が世を終えるまで、疲れた夜など、夢の中でしばしば出てきた風景なのである。（中略）城は、掻き上げの土塁をめぐらした簡素なものだったが、城下の村には会堂があり、小さな病院があり、孤児院まであって、キリシタンの色あいで塗りつぶされているようである。（中略）

官兵衛の生涯で、この三箇の数日ほど、異質な時間はなかったといっている。（後略）

キリシタンの保護者と感じていた織田信長を当初は支持するマンショでしたが、その苛烈な信賞必罰に反感を覚えるようになります。決定的な事態は、官兵衛も幽閉されてしまう荒木村重の毛利方への内通発覚の時に生じます。マンショの行動力を東光は描写します。

マンショは荒木摂津が毛利に内通という噂を耳にすると、直ちに兵庫を指して行き、瀬戸の舟人相手の浮れ女などの密集している狭斜の巷にひそみ、日夜、花隈城の動きから目を放さなかった。（中略）

次第によつては、荒木勢に駆け込んで、織田殿に一矢を報いたいと思つと、彼は今か今かと期の熟するのを待っていたのだ。（後略）

しかし、父サンチョは信長支持に回り、高山右近も同様でした。マンショの運命に暗雲が立ち込めます。と、ここで紙数が尽きました。続きは次回で。

【2014年8月～10月】

旧植田家住宅のご案内

今後の展示・企画

※毎月第1土曜日は「河内木綿体験(5名限定)」
// 第3日曜日は「むかし遊びの日」を開催

展 示

◎7月4日(金)～8月31日(日)
企画展「WAO! 和本～植田家の書籍～」

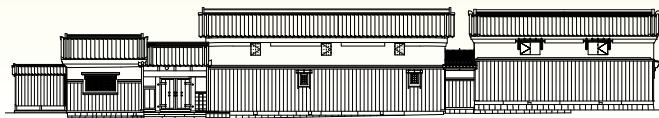
◎9月4日(木)～10月29日(水)
通常展「大和川付替え関連展示」

展示、イベント等のお知らせは
ホームページもご覧ください
<http://kyu-uedakejutaku.jp/>

企 画

(詳しくはお問い合わせください)

- ◎8月
25日(月) こどもガイド体験講座1
- ◎9月
7日(日) 防災! かまどでご飯炊き体験
20日(土)・21日(日)
「河内木綿まつり」(歴史民俗資料館主催)
- ◎10月
25日(土) 講座「八尾の魅力発信」(講師:坂上英彦氏)



休館日カレンダー

■ = 休館日

□ = イベント開催日

8 August

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9 September

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10 October

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

●開館時間: 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休 館 日: 火曜日・祝日の翌日・年末年始
(詳しくは休館日カレンダーをご覧ください)

●入 館 料: 一般200円(団体20人以上で100円)
高校・大学生100円(団体50円)
※中学生以下、身体障がい者手帳等の所持者
および介助者は無料

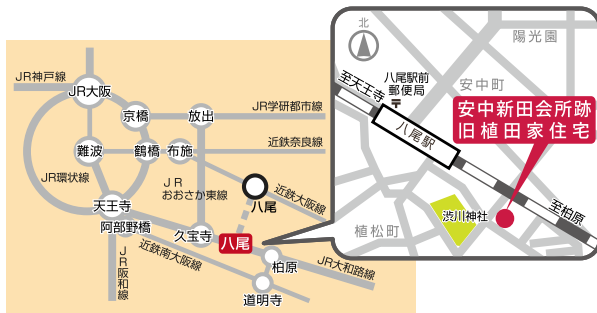
●お問い合わせ

〒581-0084 八尾市植松町1-1-25

TEL/FAX: 072-992-5311

E-mail: info@kyu-uedakejutaku.jp

※当施設には駐車場はありません。車での来館はご遠慮ください。



◇JR大和路線「八尾」駅下車、南出口より東へ徒歩約3分

◇近鉄大阪線「八尾」駅から近鉄バス藤井寺駅前行

JR八尾駅前バス停下車、南東へ徒歩約5分



シーズクリエイトは「印刷事業」と「地域活性の仕組作り」を通じて、物心豊かな“明日”をつくります。



事例 : no. 009

「やおのオハコ」できました。

八尾には日本に誇るものづくり文化があります。普段、誰もが身の回りで使っているもの、それが意外と八尾生まれだったりする。そんな日常の中の八尾ものづくり文化をもっとたくさんの人に伝えたい。そんな思いから、日々、当たり前のように良いものをつくる、ものづくりのまち、八尾の“得意ワザ”集めてみました。大切な人への贈り物を通して、やおのこと伝えてみませんか？「やおのオハコ」は、商品からパッケージまで、すべてが八尾生まれ。ひとつひとつ手作業で箱詰めしているため少しづつしか作れません。お披露目は、9月7日(日)に行われる河内音頭まつり in 久宝寺緑地にて限定販売の予定です。ぜひ、足をお運びください。その他、お問合せは下記メールまでお願い致します。



✉ info@yaola.jp / □ <http://yaola.jp>



私たちと、八尾の街。

様々な分野で活動している人たちをつなげていきたい

八尾市を拠点に、様々な地域課題の解決に取り組んでいるWorld Seedの岡見さんにお話を聞きました。



World Seed 代表
岡見 厚志さん

□ World Seed HP
www.world-seed.com

八尾市を拠点に、様々な地域課題の解決に取り組んでいるWorld Seedの岡見さんにお話を聞きました。「僕が大学4年生頃、ある環境活動に偶然関わり、その後、たくさんの人と出会う中で、自分たちの活動も広がっていきました。でも、卒業と同時に終わりにしたくない、社会貢献活動はそんなものじゃないって、そのときに一緒に活動していたメンバーと話をして、翌年にNPO団体としてWorld Seedを立ち上げ、今年で6年目。メンバー4名で色々な活動を行っています。その1つが“リターナブルびん普及促進事業”。繰り返し洗って使えるびんが普及し環境問題に寄与すればと思い、リユースびん入り大和茶「と、わ (To WA)」を企画し、奈良を中心に行政やホテル、飲食店舗で導入が始まっています。今では、国や地方行政の会議の場でも導入されたり、色々なところから引き合いをいただくようになり嬉しいですね。“実働を伴った多分野ネットワークの構築を目指す”という理念のもと、“ダブルスマイルサンタ”や“ちゃんぶる〜”というプロジェクトも進めています。将来的には、これらを通じて、多分野で活動している人たちがつながり、今まで解決できなかった課題、見えてこなかった解決策、そんな問題を打破する、そういうきっかけづくりをしていきたいですね。」話の中でたくさんの人が岡見さんの周りに集まってくる印象がありましたが、「楽しくやる。その中に学びがある。それは意識してますね。」という言葉聞いて納得できたような気がしました。

